

平成27年第14回教育委員会議事録

開催日時 平成27年10月28日(水)
午前10時00分～午前11時45分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 並 木 利美子
委 員 朝 稲 康 秀
委 員 木 下 史 江

事務局出席者 教育総務部長 香 山 庸 子
学校教育部長 榎 本 隆
教育総務部副部長 古 庄 元 行
学校教育部副部長兼学務課長
田 口 周 一
教育総務部副部長兼文化財保護課長
鈴 木 博
教育総務課長 横 山 俊 之
社会教育課長 鈴 木 浩
指導課長兼小中一貫教育推進室長
會 沢 実
教育総務課副課長兼庶務係長
関 根 宏 夫
教育総務課庶務係主任 溝 井 智 恵

○ 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 平成27年第12回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第69号

[説明者 横山教育総務課長]

平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（平成26年度事業対象）について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（平成26年度対象）を行い、その結果に関する報告書を作成したため、議決を求める。

平成27年10月28日提出 八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

【質疑】

○加藤教育長職務代理者

医療費援助事業について伺います。成果指標の医療費を受けた人数ですが、目標は123人、実績は74人となっていますが、差異の理由について説明ください。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

目標の123名は予算措置をした人数でして、74名が実際に医療券を利用して治療した人数です。主な治療内容は虫歯の治療でして、予定していた虫歯の児童・生徒が少なかったため、このような実績となりました。

○並木委員

教育指導推進事業について伺います。新規事業のネットパトロールは、年間13件の問題投稿を発見し、迅速な対応を実施したと記述されていますが、具体的な内容を教えてください。

●會沢指導課長

個人名が掲示されていたり、中学生にふさわしくない内容が13件ありました。対象の学校には報告した上で指導いたしました。

○石黒教育長

いじめについては、ありましたか。

●會沢指導課長

いじめ関連のものは、ありませんでした。

○並木委員

自殺をほのめかす言葉は、ありましたか。

●會沢指導課長

ありませんでした。

○石黒教育長

このネットパトロールでは、ラインは掌握できないのですね。

●會沢指導課長

はい。このため平成28年度からはネットパトロールを廃止し、インターネットによる危険性について別の方法で周知していきたいと考えております。

○朝稲委員

小学校施設整備事業について、この報告書については読んだ結果問題はなかったのですが、その後にニュース等で大規模改修等に力を入れているが、非常

ベルの不具合等の整備が疎かになっているという問題がありました。そこで小学校施設整備事業に関連がありますので、本市ではニュース報道後に点検をされたか伺います。

●横山教育総務課長

ニュース報道後の点検は実施しておりませんが、毎年定期点検を実施しております。今年の点検結果につきましては次回の教育委員会において、消火栓や非常ベル等の種類に分けて状況報告させていただきます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 協議事項

(1) 八潮市の人口動態を踏まえた適正な学校配置について

[説明者 榎本学校教育部長]

【資料説明】

八潮市学校教育審議会最終答申の概要のうち「2 八潮市における適正な学校配置について」・「(1) 北部について」及び「第3回学校教育審議会議事録」について説明。

【質疑】

○石黒教育長

これからの審議の見通しを確認いたします。

●榎本学校教育部長

南部地区の人口が非常に増えているということ、また、大瀬小学校の脇にマンション建設が予定されていること、区画整理の状況により1戸建ての家が増えてくるであろうということ等で、住民票に基づく平成27年8月1日現在の市内小中学校の児童・生徒数の推移データでは、この審議会で使用したデータとは数字が異なってきています。

この審議会では、潮止中の通学区域を変更して生徒数を多くしたところですが、最新のデータでは潮止中が満杯となり、教室が足りなくなるということ

す。現状においては、特に南部の教室不足が喫緊の課題として浮上してきたという状況でございます。

今回は北部の答申についてご意見をいただきますけれども、教育委員会としてこの答申を受けて、また、南部のことを含めまして適正な学校配置について方向性をだしたいと考えております。

スケジュールにつきましては、事務局で調整・計画をしまして、次回の定例教育委員会で委員の皆様にお示しをいたします。そのスケジュールの中で、この時期までに最終的に委員会の意見、方向性を決める予定です。

その目標をもとに、今後何回かの会議の中で、南部の状況であるとか北部の具体的な学校の配置、設置についてご意見をいただくというような予定を考えております。

○石黒教育長

今年度中には一定の方向性を出すというか、それとも来年度、例えば5月、6月位までとか、その予定はどのように考えていますか。

●榎本学校教育部長

今年度末、あるいは遅くても来年度早々には、一定の結論を出すことが必要と考えます。具体的に教室が足りなくて造らなければいけないという状況になると予算の話も出てきますので、スピード感を持った検討スケジュールを考えたいと思います。

○石黒教育長

これからは北部に限ってご意見を伺います。

○木下委員

小中一貫校は北部地区にあったらいいなという保護者の意見ですけど、それに向かって動くためには地域の方の理解と子どもが通っている保護者の理解が必要です。

一番のネックといたしますか、自分の子どもが関わっていない保護者が一貫校が必要として動くということができないために、あったほうがいいという考え

があったとしても動き出せないというか難しいのだと思います。

簡単に一貫校は建つものではないと思うのですが、南部に最初に建つとしたら、北部のほうが先でしょうという保護者が多くいらっしゃると思いますので、南部と北部一緒に望ましいと思います。

○朝稲委員

八潮市は北部に対してどのようなまちづくりをしていくのかが見えていない。第5次八潮市総合計画では、今後10年を見通した計画的なまちづくりに一貫校という話が一切出てきていません。はっきりしていないから出せないということで、また、10年先送りになってしまう。10年で開設できなくてもこれをやるという目標を設定して、その中で取り組んでいくのであれば、まだ10年後15年後ということで全体像が見えてくるのですが、まったく白紙の状態です。

そういう中で現在北部、ここの用地は最有力候補だというような所、ここが最も子どもたちにとって環境がいいであろうというような場所が実際あるのか、いろいろな話はあるのですが、核になるところが定まらない状態で一貫校をどうしようかというところが少しアバウトなのかなと思います。

また、人口のほうも3校集まると740人位で適正規模だということになりますが、答申の中にもありますように一貫校ができれば、環境がよい、施設がよいということで、伊草とかその他からも越境して行きたいという児童・生徒が必ず増えてくると思いますし、その辺をどこまで見込んでいるのかが分からないところです。

○石黒教育長

第5次八潮市総合計画の関係でも第4次八潮市総合計画と同様に前期、後期があるのですか。

●香山教育総務部長

計画期間は10年ございますが、やはり5年で見直しになると思います。

○石黒教育長

教育委員会の会議において、現状を考えたら一貫校を造るべきだとなったら後期に載せることは可能となるわけですね。

○加藤教育長職務代理者

小中一貫校をぜひ北部に造っていただきたいのですが、時期だとか場所だとかまだ分からないなかで、現状の抱えている問題としてアンケート等があります。

第3回審議会の中で「八條北小では、なぜ八條小と一緒にならないのかという保護者の声がある。」とありますが、元々は八條小が八條北小と分離して2校になったので、例えば、これを元に戻すということになれば児童数が増えますし、いろいろな弊害はなくなるのかなと思います。ただ、通学の問題だけですが、その辺を理解していただければ、一貫校ができる前に小学校の統合はできるのではないのでしょうか。

○朝稲委員

八潮団地は今どのような状況なのでしょう。開校した時には八條北小も700人から800人という児童数になったのですが、今ご入居されているほとんどの方がご高齢で、また、空いている部屋もたくさんあると聞いています。その状態が続くのかどうか懸念されるところです。

○石黒教育長

このようなことは教育委員会だけで判断しても、まちづくり全体の中で考えなければいけない問題であり、そういうご意見を踏まえながら、定例会の中で結論として一定の方向性を導いていきたい。

○木下委員

校舎を建てるのではなくて、八條中と八條北小をチェンジすることはできるのでしょうか。

○石黒教育長

2校のうち1校を廃校にするということによろしいのでしょうか。

平成18年に八條北小の児童を八條中学校に行かせることを考えました。地

元の人にはそういうご意見があるかもしれませんが、それでも小学校としての児童数は増やすことはできません。

○木下委員

八條小のところに小中一貫校をとという考えよりもっと北部に一貫校を構えて、北のほうに人が集まる、そこにコミュニティセンターのような地域の方も一緒に何かできるような、学校に行けるような一貫校ができたらいと思います。

○石黒教育長

自由学区にして、通学は保護者が責任を持つ。そういう形も考えられないことはありません。

これから子どもの数は、南部は増えていきますが、先を考えると全体では減少してくる。15校が多すぎるということで統廃合とか廃校とか、減らしていかなければという時代が必ずきますから、八條小を含めて3校が統合し1校になることが望ましいのでしょうね。

5. 各部課長報告・連絡事項

●香山教育総務部長

(1) 平成27年9月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

市全体の投書は51件で、このうち教育委員会への投書は6件でございました。

内容といたしましては、指導課宛に「中学校の柔道の授業はなぜ必要なのか。万が一にも重度の障がいなどを負う危険のあるものを強制的に受けさせることは理解できないし、高額の胴着を購入しなければならないことも納得いかない。即やめてほしい。」というもので、回答につきましては、「柔道」につきましては、中学校で初めて学習する内容であるため、生徒に段階的な指導を行い、安全に十分留意しながら学習を進めております。さらに、安全な指導の充実に向け、中学校保健体育科教員は、毎年、多くの実技研修会、安全講習会に参加し

ております。柔道着につきましては、柔道の特性に触れる一つの教具としてお考えいただき、ご理解をお願いいたします。今後、教育委員会といたしましては、柔道を始め、体育の授業やその他の教育活動において、児童生徒の事故や怪我がないように学校に働きかけてまいります。」と回答いたしました。

次に、社会教育課宛に「初めて八潮に来たため、場所がよく分からず、駅前出張所の図書カウンターで場所を聞いたが「市役所の方で聞いてください」と言われた。聞いたかった場所は、入り口ドアの前の部屋だった。同じ建物の中で、すぐ目の前なのになぜ教えてくれなかったのか。」というものです。回答は求められておりませんが、「駅前出張所図書窓口につきましては、現在、指定管理業者の職員が常駐しているため、指定管理業者には再度、接遇研修の実施や図書館業務以外の一般的な問合せに対する問答集の作成等について、指導してまいります。」と市長に見解を報告しました。

次に、小中一貫教育推進室宛に「小学校の夏休みの宿題の「八潮ベーシック」は、自分が習ったことのある部分を解くが、子どもによっては、その問題ができないのか、習っていないかわからない。また、問題集への直接書き込みもできないため、効率が悪い。もう一度、子どもたちがいかにスムーズに楽しく勉強に取り組めるかを見直すべき。」というのですが、こちらも回答は求められておりませんので、業務の参考とさせていただきます。

次に、社会教育課宛に「文芸欄のない理由も分かっているが、楽しみを失い、仲間との話も少なくなっている。以前あった「文芸やしお」のように俳句や短歌など読める、形のあるものもほしい。」というのですが、こちらも回答は求められておりませんので、業務の参考とさせていただきます。

次に、教育総務課宛に「授業参観に行ったときに、教室にエアコンがなく、子どもたちや先生が、汗だくで授業をしているのを見た。これでは、授業に集中できないと思う。」というもので、回答につきましては、「快適な学習環境を提供するために、今後、保護者や教職員の意見を参考にしまして、大規模改修工事などの計画も踏まえ、検討してまいります。」と回答いたしました。

学務課宛に「学校給食の試食会に参加したところ、内容が粗末で驚いた。こ

れで家庭での食育についてなんていえるのか。一度学校の試食会に市長にも参加してほしい。」というもので、回答につきましては、「松之木小学校の給食試食会には公務が重なり、参加することはできませんが、以前、私（市長）も給食センターの見学後に給食を試食し、バイキング給食も子どもたちと一緒に体験し、とてもおいしく給食をいただきました。

現在、保護者や学校長の代表等による学校給食審議会や給食研究委員会が開催され、給食の質の向上について、検討しており、今後も皆様のご意見をいただきながら、より一層努力してまいります。」と回答いたしました。

●榎本学校教育部長

（１）秋田県小坂町への教職員派遣研修について

１０月３０日、小坂町への教職員派遣の事前研修会を開催しました。どんな視点で研修してくるのかということをも十分周知した上で、派遣いたします。

研修期間は１１月９日から１３日までの１週間、派遣教職員は校長１人、教頭１人、小学校の教職員２人、中学校の教職員２人で、研修後は様々な機会を捉え、報告会等で研修状況を市内に広めていくことを考えております。

●古庄教育総務部副部長

（１）市民体育祭について

１０月１２日、体育の日に開催された「市民体育祭」につきましては、今回第４０回の記念大会でございましたが、参加町会は８町会で、内１町会は有志による参加でございました。

総合成績につきましては、優勝が上二丁目町会、準優勝は同点で２町会あり、西袋町会・上木曾根町会でございました。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

（１）学校給食費の収納状況

【資料説明】

１０月２７日現在、９月分までの学校給食費の収納状況は、昨年度の同時期は９９．７３％、今回は９９．７０％ということで、比較いたしましたとマイナ

スの0.03%ということで、少し減っておりますが、ほぼ例年通りに推移しておりますので、今後も学校と連携を取りまして給食費の徴収にあたってまいります。

(2) 学校給食審議会からの答申について

【資料説明】

第5回会議が9月25日にございまして、骨子案について審議していただきました。

委員からの質疑、意見につきましては、「以前よりフルーツのカットが小さくなった。今回、値段を据え置きにすると給食の質が下がると思う。」「給食費は増加率110%程度の値上げが妥当である。」「保護者負担の給食費増加率が110%のため、市が負担する加工費の増加率は113%では少ない、もっと上げてもいいのではないか。」「加工費について答申案に3つ書かれているが①最低限を下回らないこと、②さまざまな経費の加減に柔軟に対応できること、③これまでの赤字分の支払いはしないことの3つを考えると、113%は妥当の数値だと思う。」等のご意見をいただきました。

この5回の会議のご意見を踏まえまして、事務局で最終答申案を作成し、10月9日第6回の学校給食審議会を開催いたしまして、最終答申案をお示いたしました。

委員からの意見といたしましては、「給食アンケートの結果と今後の課題を答申に入れてほしい。」「答申案は訂正箇所無し。」ということで、全員の了承をいただいたところです。また、「来年度以降も保温食缶をテーマに審議会を継続してほしい。」「実際に食べる子どもたちや先生が本当に給食の質が向上したか判断する場をつくってほしい。」という意見がございまして、最終的には、当日加藤教育長職務代理者に答申いたしました。

(3) 八潮市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則に関する意見公募について

今年度から各学校の開校記念日を休校日とせず授業を実施しておりますが、

平成28年度の管理規則の改正に向けまして、現在パブリックコメントを実施しております。期間は10月5日から11月4日までとなっておりますが、現在のところご意見はいただいております。

●鈴木社会教育課長

(1) 平成27年度青少年の主張大会について

【資料説明】

11月14日(土)、午後1時30分から八潮メセナにて青少年の主張大会を開催いたします。

(2) 平成27年度埼玉県PTA連合会広報紙コンクールの結果について

【資料説明】

大曾根小学校、大瀬小学校の広報紙が金賞に、大原小学校、八條中学校の広報紙が銅賞に選出されました

(3) 平成27年度埼玉県PTA連合会家族で話そう！

我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

「三行詩」の結果について

【資料説明】

中川小学校3年生の皆川一楓さんの作品が埼玉県教育長賞を受賞されました。

●鈴木教育総務部副部長兼文化財保護課長

(1) 文化財展「埼玉・北埼玉の水塚」の開催について、

【資料説明】

川に囲まれた八潮が被ってきた水害の歴史とそれに対して先人が行ってきた対策について紹介する「埼玉・北埼玉の水塚」を11月1日から29日まで開催いたします。

●會沢指導課長・小中一貫教育推進室長

(1) 八潮こども夢大学I期の報告について

【資料説明】

今年度から2期制になりまして、I期の開校式が5月20日、24名が参加して行われ、6月から7月にかけて4大学で計5回実施しました。2年目ということもあり、事務局側、NPOともに、スムーズな運営ができるようになり、

児童と保護者の感想を読んでいただくと分かりますが、どの大学でも、各大学の特色を活かした授業を通して、体験したことの驚きや感動が味わえたように思います。

Ⅱ期につきましては、5大学で計6回実施する予定で32名が参加しております。現時点で10月3日の昭和大学を皮切りに、10月10日の聖徳大学（児童学科）まで修了しております。

（2）特別支援教育担当者との懇談会について

【資料説明】

来月の定例教育委員会、学校訪問の後に、特別支援教育担当者との懇談会を行います。

参加者は、市内小中学校の特別支援教育担当者15名でございます。懇談会につきましては、大きなテーマを「自校の特別支援教育の現状と課題」とし、15名を2つのグループに分けて、「特別支援学級の経営や児童生徒の様子について」の懇談を25分間行い、その後、グループを交替して、「日頃の職務のやりがいや喜び、悩みや困っていること」についての懇談を25分間していただきます。

閉会の前に、教育委員様から励ましの言葉をお一人ずついただきたいと思っております。

（3）市内陸上大会について

【資料説明】

市内小学校陸上大会が10月14日、北と南ブロックに分かれて開催され新記録が2つ出ました。南部ブロック、小6「60mハードル男子」潮止小の大森君、同じく小6「持久走男子」大瀬小の穴瀬君です。

（4）生徒指導について

【資料説明】

9月、10月の報告ですが、露出が1件、交通事故が1件、緊急搬送が2件ありました。緊急搬送は、過呼吸と熱性痙攣で、どれも大事には至っておりま

せん。

(5) その他

①はつらつ先生

【資料説明】

中川小5年目の岡部先生、教職経験10年目、5年1組担任、研究主任、道徳教育推進教師が、平成27年度優秀な教職員（はつらつ先生）として、11月12日表彰されます。

②学校便り

【資料説明】

③南フレンドスクール開校

南部地区（大原中学区、潮止中学区）の児童生徒を対象に、10月8日駅前出張所内に南フレンドスクールを開校しました。月、金曜を基本とし、10：00～15：00まで開校しており、現在2から3名の児童生徒が通ってきております。

④小中一貫教育行政視察

10月20日には、滋賀県彦根市の福祉病院教育常任委員会9名の議員団が、10月21日には、神奈川県平塚市の教育委員会4名の方々が視察にまいりました。

また、来月の9日には、京都府舞鶴市教育委員会が来庁する予定でございます。

⑤自立支援カウンセラー・教育相談所の専任教育相談員

自立支援カウンセラーの杉野さんが小松さんに変更されました。また、教育相談所の専任教育相談員の石毛さんが中村さんに変更しております。

⑥小中一貫教育研究発表会（大原中ブロック）ご案内

【資料説明】

【 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 】

【質疑】

○朝稲委員

学校給食についてお伺いたします。これまでも給食を温かく提供するという方式を取っていたと思うのですが、保温食缶とはどのような方式なのかご説明願います。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

既に汁物とご飯は保温食缶という方式で、まとめて食材が入って温めたまま提供されております。おかずについてもそのようにしたいという給食審議会の意見でございます。おかずはセンターのほうでトレーに盛り付けされまして、そのまま教室まで配布されております。

今後、おかずの保温食缶の方法と経費の面につきましても研究してまいります。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。

次回開催日程

第15回定例会 平成27年11月25日(水) 午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員